

1階に交流スペース

市内初の地域密着型
特別養護老人ホーム



神事でくわ入れをする千葉理事長

来春開設へ地鎮祭 千寿会

特定医療法人社団千寿会 護老人ホームの地鎮祭が19グループの社会福祉法人登別千寿会(千葉泰二理事長)が来年4月に開設する登別市内初の地域密着型特別養

に設ける予定の交流スペースについては「町内会や団体との交流のほか、介護予防教室や認知症カフェも検討していきたい」と述べた。地域密着型介護老人保健

建設場所は千歳町2・11・10。鉄筋コンクリート造り3階建て。(石川昌希)

して神事を行つた。千葉理事長は「2000年(平成12年)以来となる念願の新規事業所開設。少子高齢化など社会構造の変化が著しい中で、居心地の良さや面会のしやすさといった家族の希望に添つた施設だ。介護保険サービスの充実に寄与したい」とあいさつ。1階

は要介護3~5の認定を受けている人で、登別市内に住民票があることが条件。短期(定員11人)は要介護認定を受けている人が対象。

(サテライト)と短期入所生活介護の両機能を備え。サテライト(定員29人)は要介護3~5の認定を受けている人で、登別市内に住民票があることが条件。